

## 臨床研究に関する情報公開について

当院では、倫理委員会の承認得て、下記の臨床研究を実施しています。研究は対象となる患者様から個別に同意を得て行う研究ではなく、国が定めた指針に基づき、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行われる研究になります。研究に関するお問い合わせは、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

### 記

**研究課題名：**ホルモン補充周期と自然排卵周期による凍結融解胚移植後の帝王切開適応理由の比較

**研究責任者：**俵 史子

**研究目的と意義：**ホルモン補充周期(HRC)における凍結融解胚移植では自然排卵周期(NC)に比べて帝王切開率が高いことが報告されている。本検討では帝王切開の適応理由を解析し、その要因を探索する。

**研究方法：**HRCとNCの間で帝王切開の予定・緊急の割合、適応理由(骨盤位、児頭骨盤不均衡(CPD)、前置胎盤、低置胎盤、胎児機能不全、妊娠高血圧症候群(HDP)、前期破水、分娩停止、反復帝切、筋腫核出後)を比較する。

**対象となる患者様：**2015年9月-2023年9月に凍結融解胚移植により生産に至った3,552例

**発表学会(日時)：**第43回 日本受精着床学会 2025年8月28日(木)、29日(金)

**個人情報の取り扱い：**本研究に使用するデータにはお名前、住所など個人を特定できる情報は一切含んでおりません。また、研究成果は学会や論文などで発表されますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。本研究の対象となる患者様は参加への拒否を申し出ることができます。2025年7月27日までに下記へお問い合わせください。この期日以降は利用する情報から個人情報を削除するため、利用する情報が削除不可能となります。

**研究番号：**2025-0015

問い合わせ先：

【住所】静岡市駿河区泉町2-20

【担当者】福田純子

【電話番号】054-288-2882

【FAX】054-288-2883

【メール】tawara-ivf@i.softbank.jp

以上